

さまざまな特性を持つ人のトイレの利用に関する 困りごと調査(グループインタビュー)の実施方針

国土交通省 総合政策局
安心生活政策課
令和2年10月

1. さまざまな特性を持つ人のトイレの利用に関する困りごと調査の概要

- 障害者、高齢者、乳幼児連れ等のさまざまな特性を持つ人に対してグループインタビューを実施し、外出時のトイレ利用に関する困りごとの内容を把握。

調査内容	
対象者	・ 障害者（車椅子使用者、オストメイト、視覚障害者、聴覚障害者、知的・精神・発達障害者） ・ 高齢者（認知症の方を含む） ・ 乳幼児連れ 等
対象者の選出方法	・ 対象者は以下の方法により選出 →検討会の委員が所属する団体からの選出又は紹介 等 ※重度障害者、知的・精神・発達障害者等についてはご家族や介助者等を対象 ※障害の程度が異なる者が対象となるよう選出時に考慮する ※高齢者関係は、国交省で実施しているバリアフリー関係の他の会議に属する団体等からの紹介等による
実施方法	・ 対象者の特性ごとに3名程度のグループとし、グループごとにインタビュー形式により実施 ※グループインタビュー実施前に、外出時のトイレ利用状況、身体レベル、その他インタビュー内容についてアンケートにより把握（グループインタビューでは答えにくい者もいるため配慮） ※トイレに関する知見を有するファシリテーターの参加により円滑な議論が行えるように工夫 ※対象者の特性やニーズに応じ、WEB開催とする等柔軟に対応

2. グループインタビューの内容

■ グループインタビューで把握する主な内容（案）

- 普段の外出状況や外出頻度（コロナ前）
- 外出時に利用する機会の多いトイレ（施設やトイレの形態等）
- 公共的トイレ利用時の一連の流れ（トイレに入ってから出てくるまでの一連の行動・動作を思い返しながら話をしてもらうことで、回答者の身体能力や必要とする設備・機能等を探る）
- トイレ利用時に必ず必要な設備、あると助かる設備
- 必要な設備や機能が設置されたトイレの場所の把握方法（外出前に前もって調べるのか？その場で探すのか？バリアフリーマップを活用した経験はあるか？等）
- 必要な設備や機能が設置されたトイレが使用中の場合や、トイレがない場合の行動や対応（設備や機能がないトイレであっても利用が可能かどうかを把握）
- 外出時のトイレ利用に際して困った経験／良かった経験
- 障害者等用設備が設置された一般便房の使用に対する考え方（機能付き便房が設置され、配置の案内がある場合に利用するブース）
- 障害者等用設備が設置された一般便房の利用を推進するために必要な情報提供（方法・内容）